

# 令和4年度事業報告書 <グループホーム白楽荘みくにの里>

テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と  
人材の確保に努める

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

サブテーマ：より良い人間関係を築き、快適で充実した生活が保てる環境づくり

## 1. 入居者の安心した生活・安全な空間の中で、安定したサービス提供が出来る

- ①新型コロナ感染状況を注視しながら、入居者ご家族の要望に応じ、面会制限の中で電話での会話、お手紙での近況報告、LINE 配信などで対応する。厚労省・県健康長寿課からの高齢者ケアの実情を説明し理解を得ることで、ご家族との関係を保つ事が出来た。
- ②自然災害での実働訓練は縮小しながら、新型コロナ感染症による非常災害を意識して対策を強化。安全安心あるホーム生活の存続を送る事が出来た。（3年間：コロナ感染入居者0名）
- ③毎月グループホーム会議の中で、認知症ケアの勉強会を予定していたが、職員全員を招集しての開催に至らず、参考資料を各自参照する。今後もケース検討会を予定しケア向上をめざします。
- ④ケアプラン内容を定期的に申し送りに閲覧して、モニタリングより職員全員が、共有し工夫する。

R4年7月広域連合より実地指導を受け、モニタリング後の再アセスメントの記入を行うことは、入居者の意欲が高まるようなコミュニケーションとなり、様々な工夫と具体的なサービス内容となる様努めるようにと、指導がありました。

- ⑤みくにの森クリニックに二週に一回、外来診察の受診、内服薬等が処方され日々の健康状態を看護師に随時報告・連携強化ができ、健康管理する事が出来た。専門疾患の入居者には外部医療機関と連携し、定期受診をしての体調維持に努めた。（1年間：入院者4名）

入院者が退院間近で、同室者がコロナに感染したため、退院が延期となり空室が続いた。

（年間、入退居：新規利用者6名・退所利用者5名）

## 2. 働きやすい職場環境づくり

- ①施設内外の WEB 研修の参加、法人内での実務者研修にて 1 名資格取得後、介護福祉士を受験。合格し資格取得する。キャリアパスにて介護支援専門員更新研修等を含め資格取得の研修費用は、全て処遇金より施設が負担する事で、資質の向上と専門性を高める事が出来た。
- ②事業所独自のチーム目標(年間スローガン)を目に付く場所に掲示することで、常時、意識した職務遂行を実践した。
- ③日頃から各フロアチームの意見を集約して、業務の見直しを検討し、出来る事を少しずつ改善することで、モチベーションアップを図った。
- ④年二回の個別面談を実施。また日々の業務において、職員の意見等を傾聴するように努めた。  
ストレスが軽減し、チーム組織の人間関係を確保した。
- ⑤独自の年間有休休暇の取得計画表を作成。チーム全職員が平等に取得できる管理表を基に、有休消化ができ、体制改善の一つとして取り組むことが出来た。